ここをクリックして「題目」を入力してください。

―ここに「副題」を入力してください。副題がない場合はこの行を消去―

ここに執筆者氏名を「上書き」してください。共著者は「，」で区切ってください。

人数によっては複数行に渡って構いません。各執筆者氏名の右肩に脚注番号を付してください。

例：広大 太郎[[1]](#footnote-1)，広大 花子[[2]](#footnote-2)，広大 二郎[[3]](#footnote-3)

要約

　ここから要約を書き始めてください。要約は400字以内です。

キーワード：ここにキーワード（3～5項目）を「，」で区切って入力してください。

1．第1章の見出し（これ以降は，不要な部分を適宜削除して論文を作成してください。）

　第1章の本文（第1章の中に節を設ける際には，1行あけてから書き始めてください。また，節の書き方は次の書式に倣ってください。なお，数字とアルファベットは全て半角で書いてください。1ケタの数字も半角となりますので注意をしてください。）

1.1.　第1章 第1節の見出し

　第1章第1節の本文（さらに下位の項を設ける場合には，空白行は設けずに続けてください。）

1.1.1.　第1章 第1節 第1項の見出し

　図表を入れる場合，上下1行アケにし，左寄せで配置してください（表1）。

表1　表のタイトル

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

図表には，それぞれの通し番号とタイトルをつけてください。図表番号と図表タイトルの位置は，図表の上です。

図や写真は，原則として白黒とします。特に必要とする場合（カラー写真の使用等）は着色を認めますが，印刷・製本に要する費用は投稿者が負担することとなります。

図1　図のタイトル

　上述のとおり，図番号及び図のタイトルは，APA STYLE 7th Editionに準拠して，図の上に左寄せで配置します。図本体も左寄せで配置します。

もしも，図表が段内に収まらない場合は， 2段を貫く形で図表を挿入することも可能です（表2）。

2．引用の表記

　引用は注を付けずに，本文中に明記します。本文中の文献情報は，姓のみとします。直接引用の場合は，引用元のページ数を，下記のように明記してください。本文中の引用部分では，ページ数の直前に「p.」(引用が１ページのみの場合)または「pp.」(引用が複数ページにわたる場合)を付けてください。

例：しかし，難波（2008）によれば「国語科における『実の場』，それは，世界の全てである」という（p.325）。

例：難波（2008，p.325）が述べるように「国語科における『実の場』，それは，世界の全てである」が，国語科教育は….。

表2　段を貫いて図表を挿入する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注（注と参考文献のフォントサイズは9ポイントです。）

　本文の補足情報を追加する場合に使用してください。参考文献の出典情報には使用しないでください。不要の場合は，削除してください。

（参考文献の前に空白行を1行挟んでください。）

参考文献

加登本仁（2015）「校内研修で指導力の基礎を築く」木原成一郎・徳永隆治・村井潤編『体育授業を学び続ける～教師の成長物語～』創文企画, 84-92.

紙本裕一・福田博人（2021）「教科書分析を通じた助詞と図的表現の関連性についての考察－偶数と奇数を事例として－」『初等教育カリキュラム研究』9, 1-10.

難波博孝（2008）『母語教育という思想』世界思想社.

文部科学省（2018）「平成30年度学校基本調査（確定値）の公表について」

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/chousa01/kihon/kekka/k\_detail/1407849.htm

Noddings, N. (2013). *Caring: A relational approach to ethics and moral education*. Univ of California Press.

Shinno, Y., & Mizoguchi, T. (2021). Theoretical approaches to teachers’ lesson designs involving the adaptation of mathematics textbooks: Two cases from kyouzai kenkyuu in Japan. *ZDM–Mathematics Education*, *53*(6), 1387-1402.

※参考文献の書き方について

和文と欧文の文献は分けて，和文，欧文の順にまとめて記載してください。和文は五十音順にしてください。欧文はアルファベット順にしてください。インターネット記事や古文書など刊行年が不明の資料は，（n.d.）と表記する。

和文の例

（単行本の場合）

難波博孝（2008）『母語教育という思想』世界思想社.

日本数学教育学会編（2021）『算数・数学 授業研究ハンドブック』東洋館出版社.

（編著本の中の，特定の著者による章を引用する場合）

加登本仁（2015）「校内研修で指導力の基礎を築く」木原成一郎・徳永隆治・村井潤編『体育授業を学び続ける～教師の成長物語～』創文企画, 84-92.

（雑誌記事の場合）

紙本裕一・福田博人（2021）「教科書分析を通じた助詞と図的表現の関連性についての考察－偶数と奇数を事例として－」『初等教育カリキュラム研究』9, 1-10.

（インターネット記事の場合）

文部科学省（2018）「平成30年度学校基本調査（確定値）の公表について」

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/chousa01/kihon/kekka/k\_detail/1407849.htm

インターネット上の情報の場合は，URLを末尾に記載し，検索年月日は不要とする。

欧文の例

（単行本の場合）

Noddings, N. (2013). *Caring: A relational approach to ethics and moral education*. Univ of California Press.

（雑記記事の場合）

Shinno, Y., & Mizoguchi, T. (2021). Theoretical approaches to teachers’ lesson designs involving the adaptation of mathematics textbooks: Two cases from kyouzai kenkyuu in Japan. *ZDM–Mathematics Education*, *5*3(6), 1387-1402.

その他の欧文文献の書き方については，米国心理学会（American Psychological Association）が発行しているAPA STYLE 7th Editionに準拠してください。

（英文タイトルの前に空白行を1行挟んで，英文で続けてください。）

ここをクリックして「Title」を入力してください。:

ここに「Subtitle」を入力してください。Subtitleがない場合は上の行の最後のコロン「：」とこの行を消去

ここにAuthor Nameを「上書き」してください。Coauthor Nameは「，」で区切ってください。

人数によっては複数行に渡って構いません。各執筆者氏名の右肩に番号を付してください。

例：Taro HIRODAI1，Hanako HIRODAI２，Jiro HIRODAI３

１ここにAuthor Affiliation を入力してください。

２ここにAuthor Affiliation を入力してください。

３ここにAuthor Affiliation を入力してください。

Abstract

　ここからAbstractを書き始めてください。Abstractは250 Words以内です。

Keywords：ここにKeywords（3~5 Words）を「，」で区切って入力してください。

1. ここに執筆者の所属を記入してください。例：広島市立○○小学校　/　広島大学　/　広島大学大学院教育学研究科博士課程前期　院生　/　広島大学（非常勤）ここをクリックしてテキストを入力してください。 [↑](#footnote-ref-1)
2. ここに執筆者の所属を記入してください。不要な場合は削除してください。 [↑](#footnote-ref-2)
3. ここに執筆者の所属を記入してください。不要な場合は削除してください。 [↑](#footnote-ref-3)